

「AMG協議会ニュースは、AMG協議会各部署からAMG全職員への情報発信を目的としています」

2026
No.080
4月号

April

上尾中央医科グループ
AGEO MEDICAL GROUP編集・発行人 AMG協議会総務部 広報室 <http://www.amg.or.jp>
〒362-0075 埼玉県上尾市柏座1-10-3-58 TEL:048-773-1113 FAX:048-773-7116
監修/(株)寿エンタープライズ 制作/(株)博愛社**CHAMPIONSHIP出場決定!!**

埼玉上尾メディックス

2025-26大同生命SV.LEAGUE WOMENレギュラーシーズン全日程が終了しました。

埼玉上尾メディックスは、4月4日、5日のホームゲームをもってレギュラーシーズンを23勝21敗で第8位という結果で終えました。上位8位が出場し、優勝を争うチャンピオンシップに出場が決定!まずは、クォーターファイナルで第1位のNECレッドロケッツ川崎とアウェイ戦を戦います。

昨年10月から始めました、レギュラーシーズンではたくさんのご声援をありがとうございました!!

**大久保茂和監督**

2025-26大同生命SV.LEAGUE WOMENレギュラーシーズンも埼玉上尾メディックスへの温かいご声援をいただいたサポーターの皆様、スポンサー各社様、そしてAMGグループの皆様にご礼申し上げます。厳しい戦いの連続でしたが、選手たちは粘り強く戦い、確かな成長を見せてくれました。チャンピオンシップでもチーム一丸となり頂点を目指して全力で戦います。引き続き熱い応援をよろしくお願いいたします。

**内瀬戸真実キャプテン**

日頃よりご支援、ご声援ありがとうございます。まずはレギュラーシーズン、たくさんの応援をありがとうございました。なかなか勝てず苦しい時間が多かったですが皆さんの力を借りてチャンピオンシップ進出を獲得することができました。レギュラーシーズンは、色んなメンバーで試合を重ね戦いました。お互いが助け合い、隣の人を良くするプレーや声掛けが増えましたし、難しい状況でも前を向いて戦い抜くことができました。チャンピオンシップは、負けたら終わりの戦いにはなりますがチーム一丸となって上を目指します。また、このメンバーで戦えるのもあと少しなので楽しんでプレーしていきたいと思えます。引き続き応援よろしくお願いいたします。



埼玉上尾メディックス



2025-26大同生命SV.LEAGUE WOMEN 試合結果

節	日付	結果	対戦カード	
第10節	12/28 (土)	● 2-3	vs 群馬	
HOME	12/29 (日)	● 0-3		
第11節	1/3 (土)	○ 3-2	vs 刈谷	
HOME	1/4 (日)	○ 3-2		
第12節	1/10 (土)	○ 3-0	vs A山形	
HOME	1/11 (日)	○ 3-1		
第13節	1/17 (土)	○ 3-2	vs Astemo	
AWAY	1/18 (日)	○ 3-0		
第14節	1/24 (土)	● 1-3	vs 姫路	
AWAY	1/25 (日)	● 0-3		
第15節	2/7 (土)	● 1-3	vs PFU	
AWAY	2/8 (日)	● 0-3		
第16節	2/14 (土)	● 2-3	vs SAGA久光	
AWAY	2/15 (日)	● 0-3		
第3節	2/21 (土)	○ 3-2	vs Astemo	
HOME	2/22 (日)	● 0-3		
第17節	2/28 (土)	● 0-3	vs 大阪 MV	
AWAY	3/1 (日)	● 0-3		
第18節	3/7 (土)	○ 3-1	vs KUROBE	
AWAY	3/8 (日)	○ 3-2		
第19節	3/14 (土)	○ 3-1	vs 東レ滋賀	
HOME	3/15 (日)	○ 3-0		
第20節	3/21 (土)	○ 3-0	vs 刈谷	
AWAY	3/22 (日)	○ 3-2		
第21節	3/28 (土)	○ 3-2	vs デンソー	
HOME	3/29 (日)	● 0-3		
第22節	4/4 (土)	○ 3-2	vs 岡山	
HOME	4/5 (日)	● 1-3		

※レギュラーシーズン最終成績23勝21敗第8位



年末年始は3週連続・上尾市民体育館でホームゲーム開催!



岩手県陸前高田市でのホームゲームは陸前高田市民をご招待!



SV女子チーム初・春高バレー 埼玉県予選と共同開催!



レギュラーシーズン最終戦は所沢市でホームゲーム初開催!



CSR活動報告

埼玉上尾メディックス

鴻巣中央小学校へ選手全員が訪問!

メディックスパートナーである、埼玉りそな銀行様の寄贈型CSR私募債で、株式会社直徳様から「子どもたちに本物に触れる機会を提供したい」という声に応え、埼玉上尾メディックス選手による交流会も実施しました。

選手によるレシーブ・トス・アタックのデモンストレーションと生徒とバレーボール体験会や、選手を各クラスに招待していただき子どもたちと一緒に給食をいただきました。



キッズエスコートに総勢746名の子どもたちが参加してくれました!

全22試合のホームゲームでキッズエスコートを実施。

上尾市内を中心に一般公募で選ばれた小学生の皆さんと手を繋いで、選手入場を行いました! キッズエスコートを機に、メディックスのファンになってくれる子どもたちが多くみられました。



試合後に選手全員が中学生にバレーボールを指導!

開幕ホームゲーム後に上尾西ロータリークラブの企画にて、埼玉上尾メディックスの選手、スタッフがバレーボール教室を行い、さいたま市内の7つの中学校の81名にご参加いただきました。



試合後のコートでバレーボール体験会を開催!

普及担当の田川紘美、吉野優理を中心に、上尾市民体育館にて開催された3週連続ホームゲームの際、実際に選手が試合をしていたコートを使ってバレーボール体験を開催いたしました。

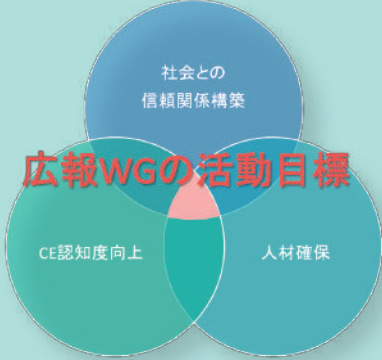
第1回は親子バレーボール体験会。第2回は小中学生を対象とした体験会。第3回はスパイクレシーブとサーブレシーブに特化したバレーボール体験会を実施いたしました。



ワーキンググループ活動紹介

広報ワーキンググループとは

AMG臨床工学技士の魅力をグループ内スタッフ、学生・地域社会へ伝えたい



臨床工学部では、2022年より広報ワーキンググループ(広報WG)を立ち上げ、広報活動に取り組んでいます。広報WGは、社会への信頼関係を大切にし、ホームページでの発信や多様な広報活動を通して人材確保を図りながら、AMG臨床工学部の認知度を高めることを目的として活動をしています。昨年からはグループの魅力を最大限スタッフが理解し、そして活用できるようにインナーブランディング活動にも着手しました。みなさんとともに、AMG臨床工学部が地域社会から信頼され、これからますます様々なシーンで選ばれ活躍できる魅力的な組織となるよう取り組んでいきます。

AMG広報ワーキンググループリーダーの門井(白岡中央総合病院)です。私たちは未来に向かってがんばる学生へ、現場の様子や先輩の熱い思いを伝えていく活動を続けています。グループとしてスタッフみんなで思いをそろえて活動できるようにインナーブランディング活動も昨年度開始しました。今後も応援していただけたらとてもうれしく思います。



社会貢献活動

臨床工学技士として『地域を支える医療現場の想い』を次の若い世代へ届け・つなげたい

小中学校での出前授業の実施

キャリア教育の一環として、この地域の医療で働く人について一緒に少し考えてみませんか?

出前講座

AMG臨床工学部

に伺います

- 病院で働くことって、どんな資格が必要なの?
- 病院で働くってどんな仕事なの?
- 近頃の病院はどんなところなの?

いろいろな疑問に答えます。

費用 ・ 無料

授業時間 ・ 45分(病院紹介+体験学習)

対象学年 ・ 6年生

お問合せ

申し込み希望の場合は、所属中学校教員にいただくか、下記事務局までご連絡ください。

・ 担当者 白岡中央総合病院 臨床工学科 門井(かどい) 753-1 白岡まがらみセンター306号室(内線215室)

申込先

2022年より地域の小・中学生を対象に各市町村の教育委員会と連携し出前授業を実施しています。今年で延べ1000名を超える子供達に授業を実施できました。子どもたちには地域の病院の役割やそこで働いているスタッフの自己実現に向けた思いや活動を伝える取り組みをしています。医療現場としては2040年を見据えた人材確保にも期待してこれからも活動を続けていきます。



各種養成校での就職説明会の実施



AMG広報ワーキンググループでは就職支援の一環として、ご依頼いただいた養成校への就職説明会の実施を行っています。AMGグループの紹介から各施設の詳細、求人など就活に必要な情報だけでなく卒業生や実際に働いているスタッフのリアルな声、就職先を選ぶにあたってどういった情報が必要か、またその情報をどのように収集するかなど就職活動に役立てていただける情報を今後も発信していけたらと考えています。

インナーブランディング活動

臨床工学部の一員であることに向上心と一体感を引き出したい



インナーブランディングとは、企業理念や価値観を社内スタッフに浸透させていく取り組みを指します。

AMG臨床工学部ホームページには、スタッフ向け専用ページがあり様々なワーキンググループの活動などが閲覧できるようにしています。そのページを通して各施設スタッフの方々にはワーキンググループはどのような活動をおこなっているのだろうと活動内容を知っていただければと思い取り組んでいます。

インナーブランディング活動を通して、臨床工学部の活動共有をおこない、部として一体感の強化を図ること、また様々な活動に興味を示していただけるようにしていきたいと考えております。昨年度より立ち上げた活動となっており、今後活動内容の記事など多々UPしていく予定となっております。定期的にページの確認をしていただけると嬉しいです。



情報発信活動

AMG臨床工学部ウェブサイトでは、学会発表の様子やリフレッシュ研修や新入職員研修の様子を毎月学生向けに更新し、就職選びの参考になるよう発信をしています。

また、Webサイトではグループ内で様々な働き方をしているスタッフを病院ごとに見ることができるよう情報を日々更新しています。

学生の方が自分の将来の働き方をイメージし、できる限りAMG臨床工学部で今描いている夢に向かって自己実現できるようサポートしたいと考えています。

臨床工学部ウェブサイトは
こちらから→

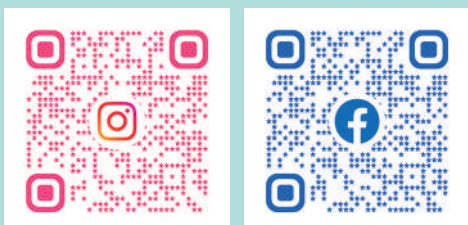


記事の一例：第5回関東甲信越臨床工学技士会



リフレッシュ研修会2025年度

instagram/Facebook始めました



AMG臨床工学部では、昨年度からInstagramとFacebookをスタートしました！学生のみなさんにもっと身近に感じてもらえるよう、楽しく情報を発信していきます。スタッフのみなさんもフォローいただき、「こんなのどう？」といったアイデアを気軽に教えていただけると嬉しいです。

マネジメント研修報告

臨床工学部

今回臨床工学部教育部門が中心となり初めてマネジメント研修をおこないました。目的は「管理職として病院運営の基礎を学ぶ。運営の問題点や診療報酬の内容、様々な経費について臨床工学部が特に注意すべき点を中心に理解する。」とし、対象はおおよそ主任職経験3年以上または係長職経験2年未満の中で各所属長が選定した24名としました。初めに参加者各自が作成したスライドを使って2分間の自己PRをおこない、その後教育部門担当者が診療報酬や病院経営、経費等について講義をおこないました。難しい話の中にも進行のユーモアな会話もあり和やかな雰囲気が進みました。病院経営の厳しい現状を伝える時事ニュースや今後部としてできることやすべきことの話もあり、より深く考える良い機会になったと思われま。参加者のアンケートから「良かった」と「大変良かった」を合わせて92%が満足していたため有意義な内容であったと思います。「診療報酬や経費など知識が不足している部分であったため非常に勉強になった。」や「これまでと違った視点で業務にあたっていける」という声が多く、担当としても目的の一部を担えたように感じました。初の試みでしたが、幹部会のアンケートからも良かったという声が多く方向性も揃えられていたと感じます。課題としてスケジュール的に余裕が無く自己PRの質問の時間が取れなかった事やグループワークの導入、資料配布の要望等がありましたので、次回以降検討していきたいと思。管理職に求める項目は多岐に渡るため何に焦点を当てどの程度まで研修内でおこなうか教育部門でさらに検討し、幹部会の意見も取り入れながら修正していくことが重要だと感じました。

上尾中央総合病院附属エイトナインクリニック 小笹 武勝

研修風景



開会の挨拶



講義風景



自己PR



閉会の挨拶

第61回 2026年1月24日(土) 新宿 京王プラザホテル

AMG 新年診療部交流会

2026年1月24日(土)に新宿の京王プラザホテルにて第61回AMG新年診療部交流会が開催されました。今年度は伊奈病院主催のもと、松村院長をはじめ多くの先生方、病院スタッフの皆様にご協力をいただき、盛会のうちに終了することができました。第一部は外部講師をお招きしてのシンポジウム、第二部は立食形式による懇親会の二部構成で実施し、AMG内より約300名の医師にご参加いただきました。



シンポジウム会場

第一部 シンポジウム

第一部は初めてシンポジウム形式を試みました。座長に帝京大学医学部附属病院 病院長・医学部麻酔科主任教授の澤村成史先生、シンポジストに北里大学病院 看護師長の川谷弘子先生、蕨市立病院 薬剤部長の濱浦睦雄先生、埼玉医科大学総合医療センター 医療安全管理学教授の滝沢牧子先生をお招きし、「医師自身の力を最大化させるチーム構築のポイント～事例研究～」をテーマに実施しました。前半はシンポジストの先生方に看護師・薬剤師・医師の立場からそれぞれご講演いただき、後半は会場からの質問にお答えするディスカッション形式で行いました。会場からは多くの質問が飛び交い、時間の都合上やむなく終了となりましたが、先生方の関心の高さが強くうかがえました。例年の講演会とは違い、シンポジウム形式となることで会場レイアウトや講師の皆様とのやり取りなど手探りで準備を進めていきましたが、参加された皆様のご協力のもと、トラブルなく円滑に終わることが出来ました。



シンポジウムディスカッションの様子

第二部 懇親会

第二部の懇親会は京王プラザホテル 自慢の料理とともに、和やかな雰囲気の中で行なわれました。普段は接点の少ないグループ内の先生同士が親睦を深める貴重な機会となり、会場は終始笑顔と活気にあふれていました。



料理



懇親会の様子

ご協力・ご参加いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。

来年度は2027年

1/23(土)

に実施する予定です。

第36回 全国介護老人保健施設大会 山口

2025年11月27日(木)・28日(金)の2日間、「第36回 全国介護老人保健施設大会 山口」が、下関市民会館、海峡メッセ下関、シーモールパレス・シーモール下関を会場に開催されました。

本大会は、全国約3,600の介護老人保健施設が加入する公益社団法人 全国老人保健施設協会が主催する、年に一度の全国規模の研鑽の場です。

今回の大会テーマは「昭和百年、老健、続く。～想いを繋ぎ 技を磨き 人を繋ぐ～」

これまでの歩みを振り返りながら、老健の未来を見据える内容となっており、全国から多くの関係者が参加しました。AMGからは13施設・16演題の学会発表を行い、日頃の取り組みや実践成果を全国に向けて発信しました。

大会初日には、安倍晋三元内閣総理大臣のご令室である安倍昭恵氏による記念講演、2日目には山口県出身のタレント・田村淳氏による記念講演が行われ、いずれも多くの参加者で会場が埋め尽くされる盛況ぶりでした。

なお、次回大会は2026年10月22日(木)・23日(金)に、栃木県宇都宮市で開催予定です。

年々、発表演題数も増加しており、来年度は比較的参加しやすい開催地でもあります。

ぜひ多くの皆さまの積極的なご参加をお待ちしております!!

施設名	発表部署	役職	発表者	演題
三郷CC	看護介護部	科長	岩崎 太郎	23施設による医療安全連携シートの効果検証と影響分析 ～自己・他者評価による重大事象の抑制と安全体制の改善～
HC横浜小雀	介護看護部		大川 裕貴	歯医者へ行ってきます ～通所リハビリにおける口腔ケアアセスメントの取り組み～
CC習志野	介護看護部	係長	椎名 淳一	「ケアがつながる、現場が変わる」 ～老健で取り組む認知症チームケア推進加算の力～
HC流山	介護看護部	副主任	菅井 光遥	ハートケア市場で人を繋ぐ ～通所リハビリテーションの進化～
HC市川	介護看護部	主任	塩路 貴之	アロマの香りでリラックス ～BPSDの軽減を目指して～
HC湘南 ・芦名	介護看護部	副主任	多田 一俊	BPSDに対する薬物療法の情報共有 ～介護による経過記録の検討～
	介護看護部		内藤 優策	排泄ケアを焦点に当てた生産性向上へ取り組み ～排泄支援の見直しによる業務改善・コスト削減～
HC左近山	介護看護部	副主任	松田 由衣	排泄ケアの質向上を目指して
HC横浜	栄養科		山口 菜つみ	便秘解消を目指した食事改善
エルサ上尾	介護看護部	主任	野本 晋平	介護老人保健施設における幸福度評価の意義と展望 ～エルサ幸福度スケールを用いた実用化研究～
	介護看護部		大川 竜平	排泄臭の低減 ～身近なもので排泄臭は消せるのか～
あおばの里	介護看護部	主任	北野 枝里香	ケアのPDCAサイクルの円滑な実行 ～ケア内容の可視化～
一心館	介護看護部	主任	野川 まどか	不適切ケア防止チームの活動による職員の心の変化
RP横浜	支援課		橋本 真理子	ケアマネジャーの関わる収入源について ～更なる増収を目指して～
老健勝田	医療相談室	主任	遠藤 輝一	協力医療機関との連携 ～外来受診体制の再構築～
	経理課	主任	今野 七海	処遇改善加算における計画書実績報告の効率化と効果 ～経理課から現場を支える仕組みづくり～

全老健大会を終えて

【演題】アロマの香りでリラックス ～BPSDの軽減を目指して～

ハートケア市川

塩路 貴之

介護看護部 主任

1 発表を終えての感想

今回、全老健大会において「アロマの香りでリラックス」をテーマに演題発表を行いました。全国から多くの施設職員が集まる大きな大会の場で、自施設の取り組みを紹介できたことに、発表を終えた今、達成感と安堵感を強く感じています。

準備段階では、限られた発表時間の中で何をどのように伝えるべきか、内容の整理や表現方法に悩む場面も多くありました。しかし、その都度メンバーと意見を出し合い、支え合いながら準備を進めることができたことで、最後までやり遂げることができたと感じています。

また、発表当日は、他施設の職員の方々が関心を持って耳を傾けてくださり、アロマ療法に対する関心の高さを改めて実感するとともに、日々の取り組みが決して間違っていないのだと感じ、今後の活動への大きな励みとなりました。

2 作成から発表を通じて得られた学び・今後への活かし方

全老健大会を通じて、全国の老健施設における認知症の方への関わり方が、職種ごとに異なる視点や工夫をもって実践されていることを知り、多くの学びを得ることができました。介護職、看護職、リハビリ職など、それぞれの専門性を活かした関わりが、認知症ケアの質の向上につながっていることを改めて認識しました。

今回の発表を通して、アロマ療法を含めた非薬物療法は、利用者の安心感やリラックスにつながるだけでなく、職員が利用者一人ひとりと向き合うきっかけにもなると感じています。

今後こうした取り組みを継続するとともに、他職種と連携しながら、利用者一人ひとりの強みや役割を大切にしたい関わりを意識し、よりその人らしさを引き出せるケアの実践につなげていきたいと考えています。

全老健大会を終えて

ケアセンター習志野

椎名 淳一

介護看護部 係長



【演題】「ケアがつながる、現場が変わる」
～老健で取り組む認知症チームケア推進加算の力～

1 発表を終えての感想

今回、全国介護老人保健施設大会という貴重な場で発表する機会をいただき、多くの学びと刺激を得ることができました。発表後には想像以上に多くの質問をいただき、日々の取り組みが他施設の方にも関心を持ってもらえたことを嬉しく感じました。この発表は、現場と一緒に悩み、考え、積み重ねてきた仲間がいてこそのものであります。遠く山口県下関まで送り出してくれた現場の皆さんに、感謝の気持ちでいっぱいです。

2 作成から発表を通じて得られた学び・今後への活かし方

資料を作る過程で、普段何気なく行っている実践にも意味があり、きちんと振り返ることで価値が見えてくることを実感しました。特にカンファレンスを通じたチームでの関わりが、利用者や職員の変化につながっていることを改めて確認できました。今回の学びを現場に持ち帰り、これからも仲間と共有しながら、より良いケアにつなげていきたいと思っています。



全老健大会を終えて

リハビリポート横浜

橋本 真理子

支援課



【演題】ケアマネジャーの関わる収入源について
～更なる増収を目指して～

1 発表を終えての感想

「ケアマネジャーが関わる収入源について」という題目を口演させていただきました。発表を終え、「AMGとは何ですか?」質問があり、全国から集まった会場の方々に AMG を知っていただく機会となったと思います。

また、下関にゆかりのあるタレントの田村淳さんの講演では、お母様のご逝去を通じ、ACP についての重要性を話され、「亡くなるまで、何を選択しよう生きるのか?」を学ぶことができました。

2 作成から発表を通じて得られた学び・今後への活かし方

発表まで、介護保険法に基づき、加算の算定要件をケアマネ間で確認し、資料やデータの更新をしました。発表では、座長が場の雰囲気を作ってくれたので、緊張せずに終えることができました。話しやすい環境を整えることは、ケアマネとして、多職種連携を図る上で重要な事であり、有意義なカンファレンスの実施を目指していきます。



全老健大会を終えて

一心館

野川 まどか

介護看護部 主任



【演題】不適切ケア防止チームの活動による職員の心の変化

1 発表を終えての感想

発表が最終日だったこともあり、前日までの演題を参考に準備を進めました。上司に発表内容や読み上げペースを見直していただいたことで、落ち着いて挑むことが出来ました。まだまだ課題はありますが、今後も真摯に取り組んでいきたいと思っています。

準備段階での良かった点は、不適切ケア防止という根強い課題に対し、チームを立ち上げ前向きに取り組む体制を整えることが出来た点です。またチームとして目標を設定し、二年間という長期的な視点で継続して取り組むことが出来ました。

また、大変だった点は、実際に発生した不適切ケアにするアンケート結果を数値化すること、また課題に対してポジティブに発信していくことでした。しかし、上司や仲間活動に対して時間を割いていただき、協力を得られたことが、今回の発表に繋がったと思います。

全老健大会を終えて

老健勝田

遠藤 輝一

医療相談室 主任



【演題】協力医療機関との連携 ～外来受診体制の再構築～

1 発表を終えての感想

今回の発表では、病院と老健の連携をテーマに令和6年度介護報酬改定にて新設された、協力医療機関連携加算の所得に伴い、併設病院との連携を見直し、より良い連携の強化を発表しました。

発表する準備をしていると自施設の上司やスタッフから応援され、さらに AMGSW 部の方からも励ましの言葉をいただき、一つの施設で行った演題ではありませんがグループで参加しているという思いも背負い発表ができたと思います。

2 作成からの発表を通しての学び

今回の取り組みを行い、他職種だけでなく他施設や協力病院との連携を強化することで施設での業務の生産性向上に繋がると考えました。

連携が上手くできていても見直す必要があり、日々変わりゆく体制や介護報酬・診療報酬の改定に対応することができると考えます。

今回の取り組みで完結するのではなく、今後も協力体制を柔軟に変えながら、日々の業務に努めていきます。

今野 七海

経理課 主任

【演題】処遇改善加算における計画書実績報告の効率化と効果
～経理課から現場を支える仕組みづくり～

1 発表を終えての感想

今回初めての挑戦だった為、決められた発表時間の中で分かり易く伝えることを考えることが難しかった。周りの経験者の先輩方にアドバイスを頂いたり、何度もブラッシュアップして資料を作ることができました。

また人前での発表が得意ではなく、とても緊張し練習通りには話せなかったのですが、自分の中の改善点も見つかり大変勉強になりました。挑戦の機会を与えてくださったことに感謝いたします。



地域連携業務担当者研修会

地域連携支援室 平澤 誠

地域連携支援室

AMG 地域連携業務担当者研修会

主催：AMG地域連携支援室

地域連携を楽しめるようになるために
～採用とキャリア形成を考える～

講師 十河 浩史 (そごう ひろふみ)
倉敷中央病院リバーサイド 事務長・地域連携部長
NPO法人 全国連携実務者ネットワーク 理事長

会場 上尾中央総合病院
10階 中村記念講堂

開催日時 2026年1月23日(金)
16:00～17:30

参加対象 連携業務管理職、連携業務実務担当者 (MSW可)
開催形式 ハイブリッド開催 (Zoom or 現地)

問い合わせ窓口
連絡担当：彩の国東大宮メディカルセンター
担当者：病診連携室 吉田 秋弥
TEL：048-665-6111
mail：akihiro.yoshida@shmc.jp

令和8年1月23日(金)、地域連携研究会と地域連携支援室の共催により、地域連携研修会を開催いたしました。本研修は、地域連携部門の人材育成と連携力強化を目的に企画したもので、会場である上尾中央総合病院中村記念講堂とZoomを併用したハイブリッド形式で開催いたしました。

当日は、グループ内外あわせて42機関が参加し、現地35名、Zoom48名、合計83名にご参加いただきました。なお、Zoom参加は各機関の代表者による参加が中心でしたが、院内・施設内での複数名視聴も見られ、多くの職員にご参加いただきました。

今回の講師には、全国連携実務者ネットワーク理事長であり、倉敷中央病院リバーサイドにて事務長・地域連携部長を務められている十河浩史先生をお招きし、「地域連携スタッフの人材育成と確保」をテーマにご講演いただきました。

講演では、地域連携部門を取り巻く人材確保の課題や、育成における具体的な取り組み事例、組織として人を育てるための視点など、実践的な内容が共有されました。特に、地域連携を「個人の力量」に依存させるのではなく、「仕組み」として育てていく重要性については、地域連携実務を担う管理職にとって、今後の人材育成の方向性を考えるうえで大きなヒントとなりました。

今後も地域連携研究会および地域連携支援室では、現場に資する実践的な学びの機会を継続的に提供してまいります。



以下は、当日の司会進行を担当した地域連携研究会責任者である吉田課長による報告です。



「地域連携を楽しむ」組織へ ～採用とキャリア形成の新たな視点～

彩の国東大宮メディカルセンター 病診連携室
吉田 秋弥

本研修では、倉敷中央病院リバーサイドの事務長・地域連携部長の十河浩史様を講師にお招きし、地域連携と採用・キャリア形成をテーマに研修会を開催しました。

現在、医療の現場では機能分化が進み、施設間の調整はより複雑化しています。連携室も日々患者を「送る・受ける」という調整業務に追われ、機関によっては人手不足も相まって、地域との連携が単なる「作業」になりがちという課題を抱えています。

今回の講演で十河様は、この現状に対し、医療を「社会的共通資本(社会の共通財産)」と捉え直し、地域連携とは単なる事務作業ではなく、限られた医療資源を最適に繋ぎ、地域を守るという極めて創造的な仕事であるとの視点を提示されました。

そのためには、採用も戦略的に行う必要があり、人手不足を補うための「DXによる事務作業の効率化」を図りながら、スタッフ「地域連携」という対人援助の本質に注力できる環境を整えることが重要であると学びました。また、欠点のない人を探すのではなく、その人の「明るさ」や「強み」を見出し、適材適所で輝かせる仕組みづくりの重要性を改めて認識しました。

キャリア形成については、「点と点は振り返った時に結ばれる」という言葉が引用されました。今の苦勞や予期せぬ出会いも主体的に関わり続けることで、いつかそれらが繋がりを、将来自分だけの強みに繋がっていく——若手職員やキャリアについて悩んでいる職員にも伝えていきたい内容でした。

連携室は地域機関と共に歩みながら成長していく存在です。今回の研修会を通じて、私自身も日々の小さな調整が地域を支える「点」であることを改めて意識しました。AMG各機関の連携室職員も、現場の課題を一人で抱え込まず、周囲(地域機関)を巻き込みながら、より良い地域連携の形を模索していきましょう。

2025年度 認定理学療法士臨床認定カリキュラム修了報告

リハビリテーション部

① 認定理学療法士制度と教育機関としてのAMG

認定理学療法士制度とは

22の専門分野で高い専門性を有する「臨床実践家のモデル」を育成する制度。

AMGリハビリテーション部は日本理学療法士協会が定める水準を満たした認定理学療法士臨床認定カリキュラムを提供しています。



2023年度
「脳卒中」コース開講
延べ19名が受講



2024年度
「運動器」コース開講
延べ25名が受講

② カリキュラムの特徴



働きながら学べる「ハイブリッド型」学習

2ヶ月のオンデマンド講義と1日の対面実技で、日常と臨床と学習の両立が可能。
オンデマンド講義は期間中、いつでも・どこでも学習可能。
自分のペースで知識を深めることができます。



AMGのスペシャリストによる直接指導

講師陣はAMG施設に所属する認定理学療法士が務めます。
日本理学療法士協会のシラバスに沿いつつも、臨床に直結する技術もお伝えしています。



実践的な対面講習
(オンデマンドで完結させない)



上尾中央医療専門学校にて、知識を技術に落とし込む実技研修を実施。

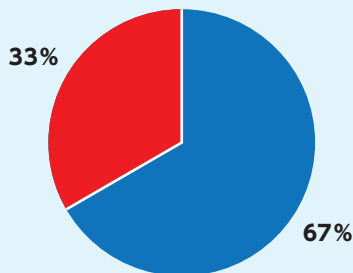
歩行誘導や触診、リスク管理などについて、質疑や実技を「顔の見える関係」の中で!!

③ データで見る実績と受講者の満足度

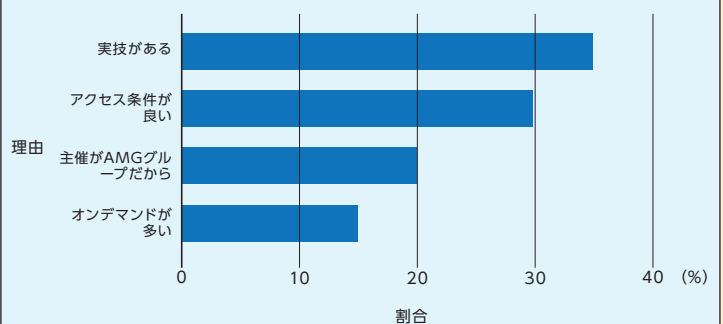
コース全体を通しての満足度 (受講者の声)

■ 大変満足 ■ やや満足

大変満足 8
やや満足 4
総計 12



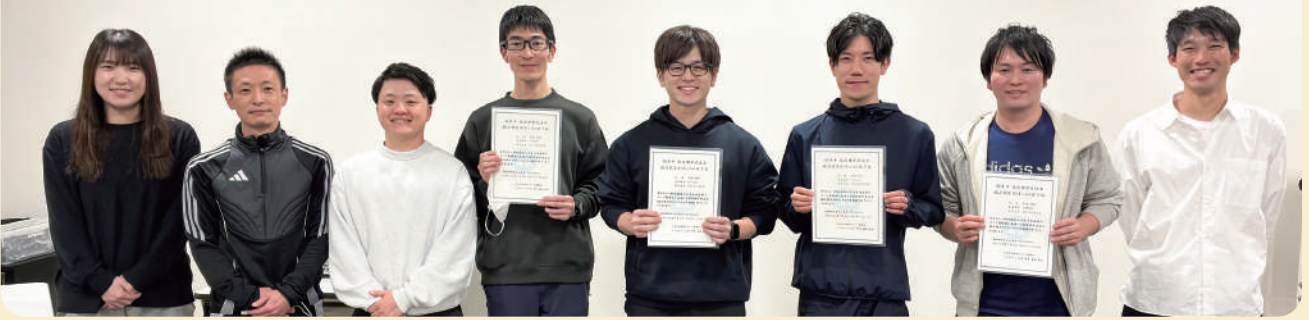
受講者が当コースを選んだ理由 (複数回答)



受講者はコース全体に非常に高い満足度を示しており、特に「実技」の存在が最大の魅力

リハビリテーション部

脳血管認定理学療法士 臨床認定カリキュラム 3期生と講師の皆さん



運動器認定理学療法士 臨床認定カリキュラム 2期生と講師の皆さん

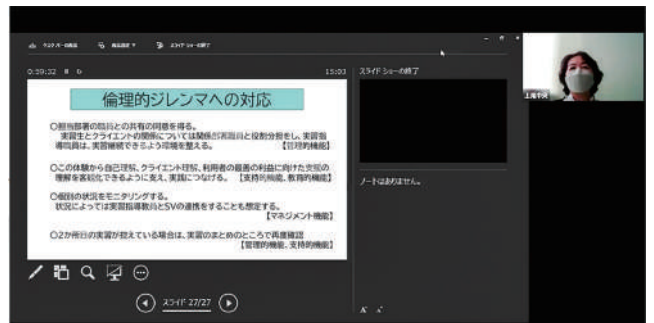


登録理学療法士の皆様へ
脳卒中/運動器 認定理学療法士を目指すなら、
AMGリハビリテーション部の臨床認定カリキュラムをご活用ください!!

ソーシャルワーカー部

実習管理部門「実習指導者等意見交換会」開催報告

2025年12月19日(金)「実習指導者等意見交換会」をハイブリット形式で開催致しました(参加者27名)。埼玉県社会福祉士会で実習指導者講習会講師をされている川部先生をお招きし、『実習指導者に求められること ～学生に対するスーパービジョンの注意点～』をテーマに講演いただきました。昨今の実習生の傾向や向き合い方、学校の指導教員との連携など、先生がこれまで経験された事例も交えてお話いただきました。今後も指導者同士や養成校との連携を深め、将来の地域を支えるソーシャルワーカー育成に貢献できるよう取り組んでいきたいと感じました。



教育研修部門「コミュニケーションと面接技術」開催報告

2025年12月5日(金)、専門シリーズ研修②「ソーシャルワーカーのためのコミュニケーションと面接技術～効果的なコミュニケーションスキルを学ぼう～」を開催しました。静岡県立がんセンター、Maggie's東京の福地智巴先生を講師にお迎えし、ソーシャルワークの要とも言えるコミュニケーション、面接技術についてお話いただきました。面接



▲福地先生、佐原先生を囲んで

技術の効果的な場面や意識すること、留意することを学び、実際に面接のロールプレイを行うことでクライアントとの援助関係づくりの大切さや面接技術により変化する話の流れを実感できる貴重な機会となりました。



▲講義の様子



▲面接ロールプレイ演習

教育研修部門「スーパービジョン基礎研修」開催報告

2026年1月29日(木)、専門シリーズ研修③「スーパービジョン基礎研修 ～日常業務に活かす『育ちあい』の視点～」を開催しました。講師にはWITH医療福祉実践研究所の佐原まち子先生をお迎えしました。研修では、スーパービジョンを単なる指導ではなく「共に考え、成長する関わり」と捉え、スーパーバイザー・バイジー双方の視点から基礎を学びました。グループワークでは、付箋を用いた意見交換や発表が活発に行われ、先生からはワークで出した計画を実践することの重要性が繰り返し語られました。「ふりかえり」と「育ちあい」を考える充実した研修となりました。



▲佐原先生を囲んで



▲講義の様子



▲グループワーク発表

老健運営部門「支援相談員代表者会議」開催報告

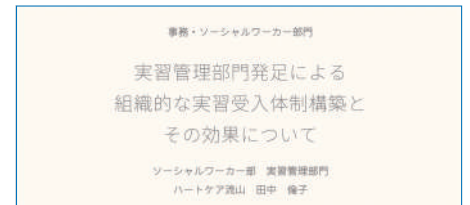
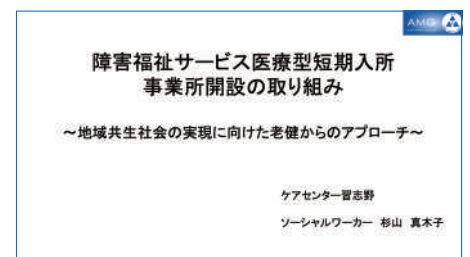
2026年2月12日(木) Zoomにて「支援相談員代表者会議」を開催しました。今回は、AMG学会で発表された2演題の共有とグループワークを行いました。一つ目は、ケアセンター習志野 杉山課長による「障害福祉サービス医療型短期入所 事業所開設に向けた取り組み」です。

本取り組みはAMG初の試みであり、地域共生社会の実現に向けた新たな運用モデルとなり得るものとして、活発な意見交換が行われました。

二つ目は、SW部実習管理部門 田中係長(ハートケア流山)による「実習管理部門の発足による組織的な実習受入体制の構築とその効果について」です。

専門職として実習指導を業務の一つとして位置づけ、マニュアル整備や受入体制の構築を進めたことで、実習受入の促進につながった取り組みが紹介されました。

今回の2演題を通じて、老健の枠にとどまらず専門職としての価値と役割を改めて考える機会となりました。



2025年度 キャリアサポートセンター研修修了者一覧

キャリアサポートセンター

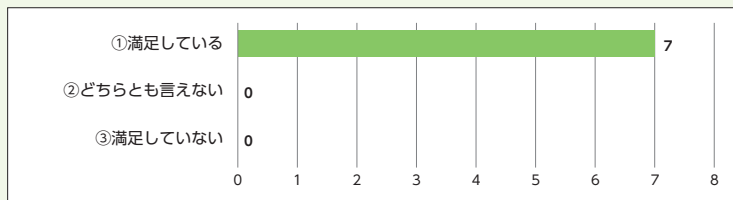
★：2025年度 新規開講

研修名	2025年度修了者	修了者累計	研修名	2025年度修了者	修了者累計
ファーストレベル	71人	1,405人	★特定分野における看護学生実習指導者講習会	7人	7人
セカンドレベル	74人	455人	介護福祉士実習指導者講習会	36人	1,066人
サードレベル	20人	73人	★介護福祉士ファーストステップ研修	32人	32人
感染管理認定看護師教育課程	4人	20人	医療安全管理者養成研修	22人	597人
看護学生実習指導者講習会	116人	1,274人			

2025年度 新規開講した研修のアンケート結果 ※一部抜粋

★特定分野における看護学生実習指導者講習会

研修全体の満足度について

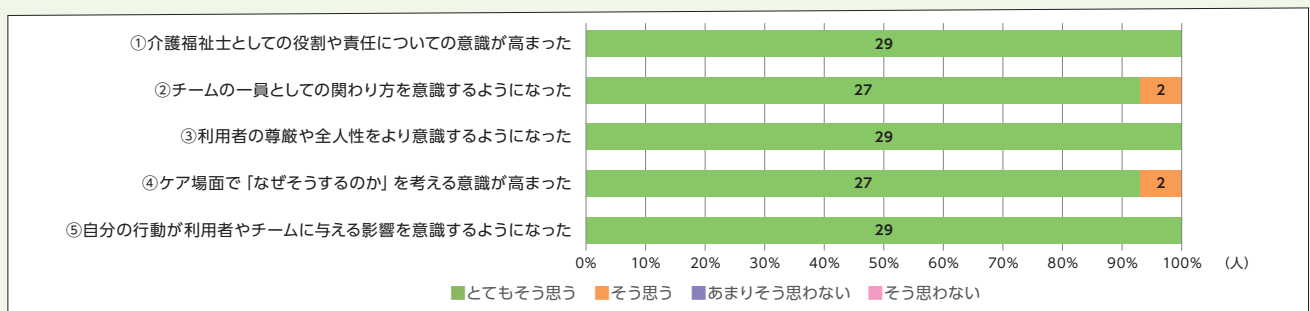


受講者の声

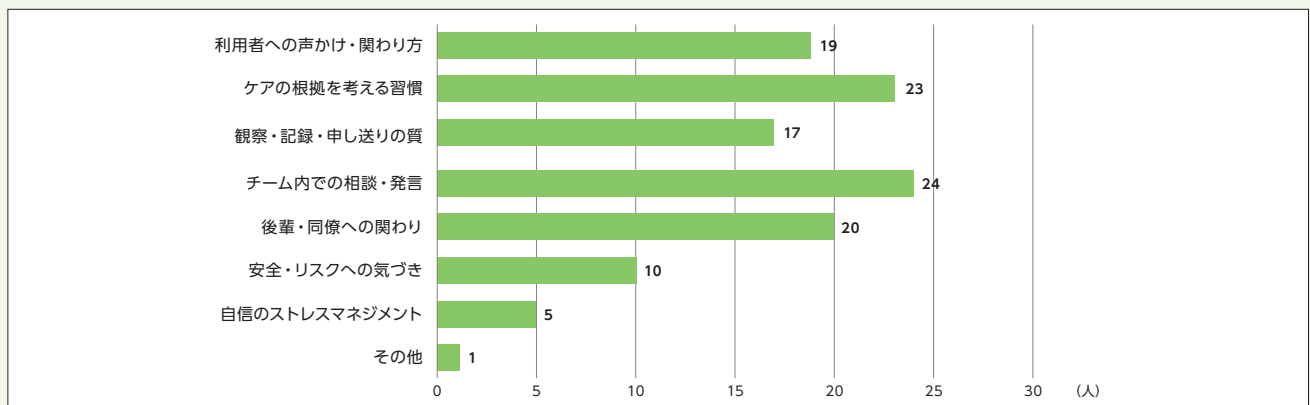
- ・最後までやりがいを感じながら楽しく講習を終えることができました。
- ・自分の指導観や看護観を深めることが出来、指導案を作るのが楽しく思えました。

★介護福祉士ファーストステップ研修

研修を通じた自己認識の変化



本研修を通じて、今後特に意識して取り組みたいこと (複数選択可)



感染管理認定看護師教育課程

2026年2月、本課程の集大成として統合演習「ケースレポート発表会」を開催しました。発表会には、実習指導者ならびに受講生の所属施設の皆様にご参加いただき、受講生がこれまでの学修および実践を通して培ってきた知識・判断力・実践力を基に、自施設の課題解決に向けた感染対策プログラムを発表しました。本課程の学びの成果を共有する場となりました。



また、3月19日には受講生4名と少人数ではありましたが、無事に閉講式を迎えることができました。

本教育課程は、2023年4月に埼玉県内の民間病院として初めて開講された感染管理認定看護師教育課程です。COVID-19流行を契機に、医療現場における感染管理の重要性が再認識される中、地域医療を支える人材育成を目的としてスタートしました。開講以来3年間で、埼玉県を中心に計20名の修了生を輩出しています。それぞれの所属施設において感染対策の中核的役割を担い、日常的な感染予防活動に加え、アウトブレイク対応や職員教育、多職種連携の推進など、幅広い場面で専門性を発揮しています。特にAMGグループからは、上尾中央総合病院2名、彩の国東大宮メディカルセンター1名、伊奈病院1名、千葉愛友会記念病院1名の計5名が感染管理認定看護師として認定され、各施設における感染管理体制の強化に貢献しています。また、2023年度および2024年度の感染管理認定看護師認定審査においては、いずれも合格率100%を達成しました。これは、修了生の努力に加え、実習指導者や所属施設の皆様による継続的なご支援・ご協力の成果であると思います。

なお、2026年度は本教育課程を休講となります。これまで本課程の運営にご理解とご支援を賜りました関係各位に、心より感謝申し上げます。今後、新興感染症への対応や災害時の医療提供体制強化などにより、感染管理認定看護師の役割がさらに重要となった際には、本教育課程の再開も検討してまいります。

本教育課程で築かれた学びとつながりが、今後も地域医療および感染管理の質向上に寄与することを期待しています。



キャリアサポートセンター

申込み期間中の研修!

※2025年度キャリアサポートセンター研修一覧抜粋

研修名	日程および期間	定員	受講料(税込)	申込期間	選考通知
認定看護管理者教育課程 セカンドレベル	7月17日(金)~11月14日(土) 原則週2日/金・土曜	50名	210,000円	4月1日(水)~4月30日(木)	5月下旬
認定看護管理者教育課程 サードレベル※1	(2027年) 7月8日(水)~2月20日(土) 原則週2日程度(10~12月は自己学習期間)	30名	300,000円	4月1日(水)~4月30日(木)	5月下旬
看護学生実習指導者講習会	7月7日(火)~11月24日(火) eラーニングを含む	100名	50,000円	4月1日(水)~4月30日(木)	5月中旬

5月より申込が始まります

診療報酬加算対象

厚生労働省「医療安全管理者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針」 医療安全管理者養成研修	7月31日(金)~11月21日(土) eラーニングを含む	50名	60,000円	5月1日(金)~5月29日(金) ※定員になり次第締切
--	---------------------------------	-----	---------	--------------------------------

ご自身のペースで、好きなタイミングに学習を進められる柔軟なスタイルです。
業務の合間にも取り組みやすく、無理なくスキルアップを目指せます。
職種を問わず、多くの方にご参加いただけます。

一部にeラーニングを導入します

e-ラーニング	34時間47分
オンライン研修	8時間
合計	42時間47分



一般社団法人 上尾中央医科グループ協議会

キャリアサポートセンター

【所在地】〒362-0036

埼玉県上尾市宮本町10-29

AMG 学習館 3階

【お問い合わせ】上尾中央医科グループ協議会 看護本部

(平日) 8:30 ~ 17:30 (土曜) 9:00 ~ 12:00

TEL 048-771-7765 Mail csc@amg.or.jp

URL https://amg.or.jp/career_support/



合格者紹介~認定看護管理者・認定看護師~

看護本部

2025年度認定看護管理者・認定看護師 認定審査に合格された方のご紹介をいたします。

認定看護管理者

施設名	氏名
浅草病院	高橋 優子
彩の国東大宮メディカルセンター	佐山 順子



認定看護師

施設名	氏名	認定分野	課程
上尾中央総合病院	鈴木 弥依	集中ケア	A
	鈴木 光子	感染管理	B
八潮中央総合病院	中泉 敦子	緩和ケア	B
白岡中央総合病院	増田 奈々美	緩和ケア	B
彩の国東大宮メディカルセンター	仲間 智恵	感染管理	B
千葉愛友会記念病院	富山 愛未	認知症看護	A
	野本 紗世	感染管理	B
笛吹中央病院	森 征子	感染管理	B

(敬称略)

~合格者より~

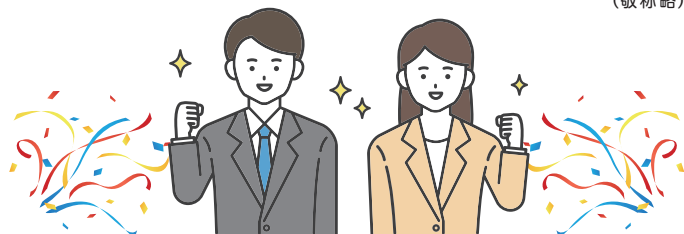
浅草病院 看護部長 高橋 優子

私は自己流の看護管理の在り方に不安を感じ始め、サードレベルの受講を決意しました。研修は、肉体的にも精神的にも厳しいこともありましたが、「看護師としてのあるべき姿」「トップマネージャーとしての在り方」を、徹底的に学ぶ機会となりました。

認定試験にも無事に合格することができ、ホッとしたのと同時に気持ちが引き締まる思いもあります。学んだ知識を現場で活かすことが重要だと思っております。魅力ある看護を目指し、今後も努力していきたいと思っております。

八潮中央総合病院 中泉 敦子

一年の研修を終え、認定審査試験に合格できたことで、ほっとしています。しかし、合格はゴールではなく新たな始まりであると実感しています。緩和ケアは、苦痛の緩和のみならず、倫理的課題や意思決定支援、家族看護など多岐にわたり、看護の基本となるものであると学びました。患者さんやご家族、多職種の方々や地域の方々に、学んできたことを役立てていけるよう努めていきたいと思っております。



2026AMGキャリアラダーシステム改訂のお知らせ

看護本部

2017年度より運用してまいりました「AMGキャリアラダーシステム」は、このたび第4回目の改訂を行い、2026年度版を発行いたしました。本改訂では、2023年度に示された「看護実践能力習熟段階」に準じ、看護・介護の臨床ラダーを全面的に再構築いたしました。

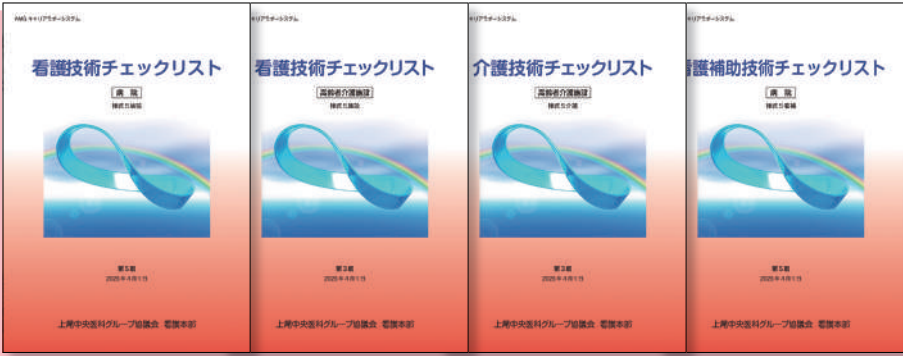
「専門的・倫理的・法的な実践能力」「臨床実践能力」「リーダーシップとマネジメント能力」「専門性の開発能力」の4領域を基盤とし、各構成要素ごとに5段階の習熟段階を設定しております。

また、手術・内視鏡・透析看護ラダーについても、従来の3段階から5段階へ改訂し、より実践に即した内容へ見直しました。さらに、グループ統一学習システムとして導入した「ナーシングスキル」内に評価関連書類および技術チェックリストを収載し、電子化による効率的な運用体制を構築いたしました。自己評価・他者評価ともにシステム上で実施可能となっております。

本システムが、AMGグループにおける人材育成およびキャリア開発支援の基盤として、より一層活用されることを期待しております。



AMG2026
キャリアラダーシステム



看護技術
チェックリスト
病院

看護技術
チェックリスト
高齢者介護施設

介護技術
チェックリスト
高齢者介護施設

看護補助技術
チェックリスト
病院

ベトナムの医療大学インターシップ授業見学

看護本部 看護業務部 外国人支援室 佐藤 真紀

2026年1月18日から23日にかけて、ベトナム中部・ダナンにあるドンア大学を訪問し、大阪愛仁会が主催するスキルラボ授業の見学および補助を行いました。現在、同大学では22名の看護学生が、2026年5月の日本入国を目指し、1月から3か月間にわたり日本語と基本的な介護技術を学びながら実習に取り組んでいます。講師は大阪愛仁会の介護職員2名で、学生たちは大学で基礎的な日本語を学んでいるため、簡単な挨拶や自己紹介はすでに習得していました。

授業は、全員で「上を向いて歩こう」を合唱するところから始まります。日本では誰もが知る応援歌のような存在ですが、学生にとっては日本語の学習だけでなく、日本で介護に携わるための心構えを形成する時間にもなっています。介護現場では日本語が大きな壁となるため、歌を通して発音や語彙を自然に身につける工夫が取り入れられていると感じました。

講義は22名を2グループに分け、150分の授業を実施。まず座学で介護場面で使う語彙や声掛けを学び、その後は実技を交えながら実践的に取り組んでいました。今回のテーマは「身支度の講義と実技」「障害の講義と実技」で、実技の場面では私たちも補助として関わることができました。「分かる」「できる」が増えることで、学生たちの来日前の不安も軽減されることでしょう。

2027年度の受け入れに向けて、私たちも準備を進めていく必要があります。学生たちは、日本人の私たちでさえ思わず「はっ」とするほど丁寧な日本語表現を学んでおり、「着心地はいかがですか」といった言葉遣いが自然に身につけている姿が印象的でした。





「AMG学びの地図」 — 今年度の研修体系を一望—

2026年度の統一目標「新風」～一人ひとりの挑戦が、未来への追い風となる～
 人財開発室では、「任せて育て、挑戦で伸ばす」人財循環をつくるため、キャリアの節目に必要なノンテクニカル研修を整理しました。必須研修に加え、日々の実践を支えるオンライン学習も活用しながら“新しい一歩”を後押しします。今年度の研修体系を、以下のマップでご確認ください。

階層別研修

2026年4月入職の事務職員
 対象

新人事務職フォローアップ研修会 **必須**

2026年 10月20日(火)・22日(木)
 ・27日(火)・29日(木)



内容
 入職後半年間の振り返りと現状の課題認識

講師
 人財開発室

集合型

2026年1月以降の主任職昇進者(全職種)
 対象
 2025年4月～12月主任職昇進者で未受講の方

主任職初任者研修会 **必須**

2026年5月12日(火)・19日(火)
 2027年2月16日(火)

※いずれか1回参加

内容
 ・主任に求める役割
 ・重要思考「決める力と伝える力」

講師
 三谷 宏治氏
 金沢工業大学
 虎ノ門大学院教授

オンライン (Zoom)

係長以上の全職員(全職種)
 対象
 ※理事・運営委員も対象
 ※チーフ職の主任も参加可

係長以上全体研修会 **必須**

2026年6月30日(火)
 フォローアップ: 11月25日(水)

内容
 現代に求められる組織づくり(仮)

講師
 上村 久子氏
 (株)メディフローラ 代表取締役
 病院経営アドバイザー
 ・看護師
 ・保健師
 ・心理相談員

オンライン (Zoom)

横断型研修

対象 **今後のワークアウト大会にてファシリテーターを務める者または予定者** **2026年6月18日(木)**

ワークアウトファシリテーター研修会 **選抜**

内容 AMGのワークアウトを推進する人財を継続的に育成するために、ワークアウトの基本と仕組み、問題解決の手法を学ぶ

講師 過去の同研修会受講者によるプロジェクトチーム

オンライン (Zoom)

対象 **中途入職した職員、常勤へ身分変更した職員、これまで未受講の方** **随時**

中途入職者研修会 **必須**

内容 AMGの紹介、AMGの職員・医療従事者としての心得、接遇への取り組み

オンデマンド (AMGポータル)

\\ 医療マネジメント職を主な対象としたオンライン学習 // ※全職種参加可能

事務部会

E-JIMU **レベル別必須+自由受講**

幅広い知識を
 “スキマ時間”でも学習できる
 AMG独自のEラーニングシステム

オンデマンド (AMGポータル)

JIMUサロン **任意**

平日の18時以降～開催
 現場ですぐ使える
 ノンテクを学ぶライブ配信

オンライン (Zoom)

自分のタイミングで取り組みやすい2つのオンライン学習

幅広い知識の習得に



E-JIMU
オンデマンド配信

4/1~第4期START

10種のカテゴリー、200を超える動画が視聴できる、医療マネジメント職を育成するプラットフォーム。

POINT

- ☑ 自部署と他部門の知識がバランス良く身に付く
- ☑ 未経験部門や業務の知識を習得できる
- ☑ Office、WEBなどのITスキルも学べる
- ☑ OJT動画で理解を深めてから実務に取り掛かれる「業務支援」カテゴリも充実



こんな時にも役立ちます

- ・異動や兼務、新しい業務の担当になった
→業務の全体像をいち早くつかめます
- ・他部門との連携が増えた
→短時間で他部門の知識も押さえられます

現場で使えるノンテクを学ぶ



JIMUサロン
平日18時以降開催 Zoomによるライブ配信

医療マネジメント職に必要な「ノンテクニカルスキル」を厳選してお届けしています。入退出も自由だから気軽に視聴OK。トレンドや参加者アンケートのご要望も取り入れた実践的で多彩な講義は、きっと明日からの「追い風」となるはずです！

2025年度開催テーマ

- ・接遇とホスピタリティ
- ・主体性を持った社員の育成
- ・SNSリテラシー
- ・生成AI
- ・アンガーマネジメント
- ・クレームとカスハラ
- ・仕事の進め方
- ・LGBTQ
- ・マルチタスクへの対応
- ・OJT

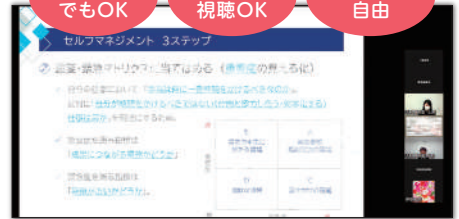
どこからでも
気軽に参加



ビデオOFF
でもOK

スマホで
視聴OK

入退室
自由

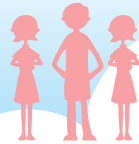


参加者の声

- ・自分で興味のある講義を選択して無理のない範囲で参加できるので、時間を取れない職員も気軽に参加できていいと思います。
- ・AMG職員であるがゆえに受講できることに感謝し尽くせません。仮に外部で聴講したら有料の内容ばかりです。

上尾中央医科グループ

医療の質向上委員会



AMQI
The AMG Committee of
Medical Quality Improvement

お問い合わせ先 | AMQI事務局 (上尾中央総合病院 組織管理課) e-mail ▶▶ omr@ach.or.jp

連載 第71回

ポリファーマシー対策は減薬だけではない！ 生活環境に合わせた治療方針を目指して

高齢者の薬物有害事象増加には、多くの疾患上、機能上、そして社会的な要因が関わりますが、薬物動態や薬力学の加齢変化と多剤服用が二大要因と言われています。多剤服用の中でも害をなすものを特にポリファーマシーと呼びます。

高齢者になると抱える病気が多岐にわたる事が多く個人に対して様々な戦略に沿って治療が行われています。そのため、多科受診により薬剤が処方されます。しかし、「多剤併用」「いらぬ薬」と非常に悪いイメージがあるポリファーマシーの状態を病院薬剤師はどのように捉えて患者様に還元できるのかを考えなければなりません。

薬物有害事象は薬剤数にほぼ比例して増加し、6種類以上が特に薬物有害事象の発生増加に関連したというデータもあります。一方、治療に6種類以上の薬剤が必要な場合もあれば、3種類で問

題が起きる場合もあり、本質的にはその中身が重要です。したがって、ポリファーマシーの是正に際しても、一律の剤数や種類数のみに着目するのではなく、安全性の確保等からみた処方内容の適正化が求められます。

現在、入院患者様においては薬剤総合評価調整加算や薬剤調整加算が診療報酬として認められています。AMG薬剤部では病院薬剤師が入院前に服薬状況の確認や入院時の初回面談によって入院後の治療方針を見据えた処方提案が行われています。そのような強みを活かし、多職種と協同して患者様の生活環境に合わせた薬物治療を提供できる業務展開が可能となっています。今後は転院時および退院時に施設間で文書による薬剤情報連携を促進する仕組みが導入される予定です。今こそ、病院薬剤師が中心となってポリファーマシー対策を進めていきます。

病院総務部会

2025年12月25日(木) 13:15~13:50

「第2回 ソアリン・ストーリーズ」

25名
参加!!オンライン・ランチタイム
ZOOMミーティング

2025年12月25日(木) 13:15~13:50、ソアリンメンバー(ソアリン病院総務部会・女性事務職チーフアシスタント)を対象に、つながりと交流を深めるオンライン・ランチタイムミーティングを開催しました。



第2回となる今回は、金沢文庫病院 総務課係長の笠澄恵美さんをゲストにお迎えしました。

笠澄係長からは、金沢文庫病院の紹介として、歴史を感じさせる院内の写真とともに、長い年月を重ねて地域に寄り添ってきた様子をお伝えいただきました。また、病院のマスコットキャラクター「ぶんこあら」が職員の公募によって誕生したことなど、職員同士の温かなつながりが感じられるエピソードにも触れていただきました。

当日はクリスマスということもあり、スライドも華やかなXmas仕様に彩られ、画面越しでも心がふわりと和らぐような雰囲気になりました。

また、まだ交流の機会が多くないメンバー同士でも自然に参加できるよう、笠澄係長がいくつかの質問を投げかけ、ZOOMのリアクション機能を使いながら和やかにコミュニケーションを深めました。

同じ総務課で働く仲間として、病院ごとの違いや共通点を知り合い、日頃の悩みや疑問を共有することで、学びと気づきの多い有意義な時間となりました。



ゲストスピーカー：金沢文庫病院 笠澄係長

金沢文庫病院
マスコットキャラクター「ぶんこあら」

配信の様子

